

第152回学校体育研究同志会全国研究大会（熊本支援東京大会）

「わかる・できる・いきる」体育・健康教育実践の創造 ～「わかる」の意味を問う「はじめの一步」～

わたしたち学校体育研究同志会は、1955年創立以来「すべての子どもが運動文化の主人公になること」をめざしてきました。昨年度、60年を総括する節目の大会を経て、今年度は、次のステージへと一步をふみ出す重要な大会として、熊本・阿蘇での開催を予定していました。

しかし、先般の熊本県を震源とする地震により、熊本での実施を断念せざるをえませんでした。震災後の生活再建・学校再開に追われながらも、大会開催をめざして、熊本支部の会員はギリギリまで奔走してきました。私たちは、熊本支部の無念さを受け止めると同時に大会に込められた志を受け継ぎ、東京大会の開催を決意しました。今大会では、「わかる・できる」の「わかる」に着目していきます。

身体感覚・感情・認識とわかるレベルは様々です。客観的な対象認識、対人的な関係認識、アイデンティティに触れる自己認識とわかるべき世界も多様です。運動技術を学ぶと言っても、できるための方法・操作もあれば、なぜできるかの仕組みや原理、その運動（種目）の全体構造と多岐にわたっています。「わかる」への迫り方（研究方法）も自然科学的・社会科学的などあらゆる手立てを講じていかねばなりません。

体育の授業をよりよくしたいという思いを持ってこの大会に集い、語り合ひましょう。そして、参加者一人一人が元気を得ることのできる大会を創っていきましょう。短い期間で整えた今大会を皆さんの積極的な参加で成功させてください。

大会期日：2016年8月6日（土）～8月8日（月）

開閉会行事	明星学園小中学校（東京都三鷹市井の頭5-7-7）
分科会	明星学園小中学校（同上） 明星学園高等学校（東京都三鷹市牟礼4-15-22）
文化交流の夕べ	吉祥寺東急REIホテル(旧東急イン)(武蔵野市吉祥寺南町1-6-3)

大会日程

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
6日 (土)					12:00～ 13:00 受付	13:00～ 14:00 開会行事	移動	14:15～16:15 分科会①	移動	16:30～ 17:45 特別講座	移動	(分科会交流会)
7日 (日)		9:30～12:30 分科会②			12:30～ 13:30 昼食		13:30～17:00 分科会③		移動		18:00～20:00 文化交流の夕べ	
8日 (月)		9:30～12:00 分科会④		移動	12:15～ 13:00 閉会行事							

受付場所：明星学園

◆◇大会についての問い合わせ先◆◇

学校体育研究同志会全国研究大会
事務局 児玉 望
連絡先：E-mail k.nozomu@jcom.home.ne.jp

◆◇大会についての情報◆◇

HPアドレス [http:// taiiku-doshikai.org/](http://taiiku-doshikai.org/)

主催：学校体育研究同志会 〒160-0023東京都新宿区西新宿8-2-34新宿マンション502
<http://taiiku-doshikai.org/>

主管：学校体育研究同志会全国研究大会（熊本支援東京大会）実行委員会

後援：東京都教育委員会（申請中）・三鷹市教育委員会

8月6日(土) 閉会行事

13:00~14:00

明星

基調提案・熊本からのメッセージ

大会3日間の研究の柱となるのが基調提案です。体育同志会では、子どもたちの「わかる・できる」を大切に授業実践を積み重ねてきました。本大会は、その「わかる」について各分科会での検討を深めます。また、各分科会の研究課を確実に一歩前進させるよう、参加者が学んだことを明日からの実践につなげていけるよう分科会運営を行います。大会の研究課題と、これからの実践づくりの課題をわかりやすく提案します。また、今回の熊本地方の地震によって、阿蘇大会を断念した熊本支部からのメッセージがあります。

学園

8月6日(土) 特別講座

16:30~17:45

明

星学園

- | | |
|----------------------------|--------------|
| A 私たちの体育の授業づくり | 提案：山内 基広氏 |
| B 平和教育としてのオリンピック・パラリンピック教育 | 提案：森 敏生氏 |
| C 組体操・組立体操について考える | 提案：大貫 耕一氏 |
| D 「わかる」からの一歩、学んだことを力に | 高校生・大学生からの報告 |

8月7日(日) 文化交流の夕べ 18:00~20:00 吉祥寺東急REIホテル

☆北海道から沖縄まで、全国各地から今大会に集まる仲間とたのしく交流します。分科会の充実とともに、文化交流の夕べは研究大会を支える大きな柱の一つです。
☆各支部、各分科会に受け継がれる、そして新たな一歩を踏み出した様々な芸を、みんなでともにたのしみましょう。
☆「はじめの一歩」を踏み出した21世紀型感動フェスティバルを開催します。

8月8日(月) 閉会行事

12:15~13:00

明

大会のまとめ

今大会で議論してきた内容を全体で共有し、「わかる」ことを中心とした体育・健康教育の理論的・実践的課題を確認します。

星学園

山梨大会への引き継ぎ式

「はじめの一歩」を踏み出した熊本支援東京大会での研究成果を受け、実践し、それを報告する大会になります。
東京から山梨へ、みんなの「はじめの一歩」が確認できる大会になるよう、同志会の旗を渡します。

保 育 【明星学園】

先着5名です。人数限定ですが、保育士が大会期間中お子様をお預かりいたします。保育に関しては、直接大会事務局への申し込みとなります。

子ども学校

今回は、諸事情により残念ながら、設定していません。

8月6日(土)～8月8日(月) 分科会

明

星学園

大会は分科会での学びを中心に展開していきます。大会サブテーマにもあるように「わかる」について全分科会が「はじめの一步」を踏み出せる実践づくりを、各分科会で3日間通して追求していきます。

番号	分科会名	分科会内容紹介	教材・学年	実技	
1	障害児体育	支援学校、支援学級に在籍する児童生徒が増加する中、一人ひとりを大切にしたい指導が求められています。本分科会では、「子どもの内面を育みからだを耕す」障害児体育を目指して取り組んでいます。今大会では、肢体不自由の特別支援学級と特別支援学校の中学部の知的障害の子どもと取り組んだ実践を協議します。子どもたちが手応えと達成感の持てる「わかってできて、つながり合える」教材や授業づくり、指導について実技を交えて検討します。	特別支援学級 (肢体不自由) 特別支援学校	有 屋内	
2	幼年体育	幼年分科会では、幼児期に身につけるべき力を意識した、発達段階に応じた運動遊びの系統的な指導のあり方を検討します。それは、単に〇〇ができるということではなく、子どもたちがワクワクするような楽しい運動遊びを展開していく観点から検討し、実技を楽しみながら交流・研究していきます。	おにごっこ しっぽとりおに しっぽ陣取り (0～6歳)	有	
3-1	小学校体育	低・分散会	低学年の子どもたちにどんな内容を学習させ、どんな力をつけるのかを論議します。また、シュートボールの実践提案と実技を通して「わかる・できる」内容とその指導方法について検討します。	シュートボール (小2)	有 屋内外
3-2		中・分散会	サッカーの実践提案と実技をもとに、子どもの生活課題と発達・認識との関係を視野に入れて、「わかる・できる」内容とその指導方法について検討します。	サッカー(小3)	
3-3		高・分散会	高学年の子どもたちの生活課題・発達課題について交流します。とび箱(ネックスプリング)の実践提案と実技を通して、「わかる・できる」内容とその指導方法、高学年にふさわしい主体的な学びとはなにかについて検討します。	とび箱 (ネックスプリング 小6)	
4	中学校体育	どの子もうまくなり楽しめる授業にするために何をわからせるか、義務教育終了時に身につけさせる共通教養を展望し、生徒の実態に合わせた指導を検討します。バスケットボール・バレーボールの実践提案を行います。	バレーボール (中3) バスケットボール (中3)	有 屋内	
5	高校体育	青年期(15才～20才)の実態やとりまく状況などを明らかにしながら、青年に「つきたい力や学力」について討論します。2本の実践報告(陸上と野球)を受けて、高校や大学での授業づくりについて検討します。実技ではソフトボールの技術や戦術について学習・検討を行います。	陸上 あてっこ ペース走(高校) 野球型の授業 (大学1年)	有 屋内	
6	「戦略・戦術」 バスケットボール	バスケットボールの歴史的な歩みも含めつつ「運動文化」としてトータルに学びます。戦術的な課題や小学生から中高生までつながる系統的な指導のあり方を深めます。ゲームの中で生きる二人のコンビネーション(ディフェンスを意識した)を中心に実技と実践提案を通して学んでいきます。	バスケットボール (小高学年)	有 屋内	
7	「戦略・戦術」 フラッグフットボール	フラッグフットボール教材の戦術を学び、みんなが活躍できるボール運動の授業づくりを行います。実技では2人対2人で基礎となる戦術的課題や技術を学び、小学校5年生の実践提案から、子どもの動きの変化や作戦についての思考の深まり(わかる・できる)について検討します。そして、3人以上のゲームへとつなげていく授業過程を検証します。	フラッグフット ボール(小5)	有 屋内	

8	「戦略・戦術」 サッカー	ルールの単純さゆえに世界中に広がったサッカー。そのサッカーらしさの一つである「オフサイド」を取り入れることで、戦略・戦術学習もより深まると考えています。また「オフサイド」など文化的な内容を子どもたちに教えることに、どのような価値があるのか、強化によっても検討します。2日目の最後には『同志会東西対抗戦』も開催されます。分科会の枠を超えての参加をお待ちしています！！	サッカー (小6)	有 屋 外
9	「表現」 器械運動	実践報告を実技を交え検討します。今までの研究成果を踏まえて「マット」「跳び箱」「鉄棒」の指導法やからだの動かし方についてともに学んでいきます。「指導法がわからない」「示範ができるようになりたい」などのニーズにもこたえられる分科会です。	マット運動 (低・中・高)	有 屋 内
10	「舞踊表現」 ダンス	「からだのしくみと動きの成り立ち」を学び、子どもたちの内発的な動きを引き出し表現につなげる指導方法を考えます。今回は「イメージ」よりも「動き」を先行させながら進める表現運動の実践提案と、その追体験をします。ダンスの苦手な方も新しい世界が広がります！	表現運動 (小3)	有 屋 内
11	「舞踊表現」 民舞	自然なからだづかいで形づくられている民俗舞踊は、子どもたちのからだを耕し、心を開く豊かさを持っています。日本各地に伝わる民俗舞踊に共通する「理にかなった動き」を探るワークと、背景にある文化性や民俗の願いを教材化した実践の検討を通して「民舞で育てたい力」について考えます。 <u>*当日は足袋を持参してください。</u>	岩手・宮城 「荒くずし舞」 (みかぐらの一種)	有 屋 内
12	「記録・競争」 陸上	低学年における障害物走・リレーについての実践について検討を行います。障害走では、走る動きの変化は、フラット走のタイム向上に有効かを、また、リレーでは対等平等な競争のやり方をわかる・できるにかかわって追及していきます。	かけっこ・リレー (小2)	有 屋 外
13	「水辺文化」 水泳	基礎泳法として「ドル平泳法」を位置づけ、実践研究を積み重ねています。低学年の水遊びにおける指導過程の見直しや確認、ドル平から近代泳法の指導とのつながりなどを実践報告をもとに検討します。また、プールでの近代泳法だけにとどまらず、「水辺文化」を意識した幅広い実践の可能性も探っていきます。 <u>※当日は水着を準備してください。</u>	水遊び(低学年) ドル平から近代 泳法 日本泳法(小5)	有 プ ール
14	健康教育の授業づくり	からだや健康問題の学習をすすめる上では、子どもたちの生活課題や背景にある社会問題に目を向け、現実の課題に向き合うことが欠かせません。子どもたちの視線から創っていく授業のあり方や教材づくりの方法を学びます。子ども・父母・地域の方・教職員との共同の授業づくりをどう進めるかなどを交流します。	みんなどこから？ (小2) 児童労働・チョコ レートのお話 (小3)	無
15	体育理論の授業づくり	2020年東京で第32回夏季オリンピックが開催されます。東京都を中心に行政主導による「オリンピック教育」が推進されています。その内容を検討すると共に、私たちの考える「オリンピック教育」の内容と方法を考え、実践計画を立案します。	オリンピック (小4)	無
16	子どもスポーツ社会と学校づくり	子どもが主人公の学級・学校づくりの理念、内容、方法について、小学校と通信制高校の実践に学びます。また子どもを地域で育てていく熊本の実践から、遊びの教育力、子どもが生き生きするまちづくりについて学びます。ESD(持続可能な教育)にむけて学校と地域のいい関係を探っていきます。	学級・学校づくり (小学校・高校) 地域活動	無
17	グループ学習	「みんながわかってできる」ためにはグループ学習による学び合いが必要です。初日は入門編として私たちの体育授業におけるグループ学習の基本的な考え方や指導方法を共通理解していきます。2日目には実践提案をうけてグループ学習による授業づくりを考えると同時に、「集団の高まり」をどう分析していくのかを検討していきます。「みんな」が学び合う体育授業をめざして一緒に議論していきましょう。	フラッグフット ボール(小2) 跳び箱 (小4)	無

18	特別分科会「荒馬」	幼児教育に長年携わってきた高田敏幸氏による渾身の「荒馬」講座です。「生きるとは何か」を問いながら、独自の教材解釈を築き上げてきました。子どもの命が輝く「荒馬」、さらに実践者自身が生きる力を感じ取れる分科会です。※荒馬の道具を購入していただく予定です。	荒馬	有
----	-----------	---	----	---

※各分科会の内容等は変更の可能性があります。

＜参加申込要項＞ ※必ずお読みください

☆本大会はWebによる申込みを原則とさせていただきます。下記要項をよくお読みになってお申込みください。
Web申込みできない環境にあるなどのご事情がある場合、このページの下記の大会事務局にご連絡ください。

●参加費：全国研究大会参加の申込みとなります。

- ：3日間 8,000円（学生4,000円）
- ：2日間 6,000円（学生3,000円）
- ：1日間 3,000円（学生1,500円）

●保育：大会事務局主催の保育への申込みとなります。

WEB上ではなく、直接メールで k.nozomu@jcom.home.ne.jp に申し込みください。

※申込締切り後、持ち物・集合時刻・場所等についての連絡を実行委員会よりさせていただきます。

●文化交流の夕べ

8月7日に実施します。参加される方は大会参加費とは別に7300円です。（夕食+飲み放題）

●弁当

8月7日（分科会会場） 1食・お茶付き 1000円

※大会主会場となる明星学園周辺は飲食施設が少なくっております。予め弁当のお申込みをお勧めします。

●宿泊

宿泊施設は参加される方ご自身で予約してください。

※大会会場となる吉祥寺周辺は夏のピーク期と重なり、ホテルの施設についても相当混雑が予想されますので、早めのお申込みをお勧めします。新宿、渋谷からも近いですが、吉祥寺、立川、三鷹、武蔵境、武蔵小金井、調布、荻窪、国分寺、八王子からもアクセスはいいです。安いビジネスホテルも確保できると思います。よろしく願いいたします。

●申し込み方法

本大会は、Webによる申込みを原則とさせていただきます。学校体育研究同志会ホームページ【検索：学校体育研究同志会】に掲載のINDEX『第152回学校体育研究同志会全国研究大会』ボタンからお申込み下さい。

1. 受付期間 2016年6月下旬～7月上旬 から 2016年8月1日（月）
※受付開始日もインターネット上でお知らせいたします。
2. お支払方法 銀行振込（インターネットバンキング含む）・コンビニ払い
3. 変更・取消について

【変更・取消料】（受付日は弊社受付時間内とさせていただきます）

●大会参加者

解除の日	取消料
前日まで	3,000円
当日	100%

●保育

解除の日	取消料
前日まで	3,000円
当日	100%

●文化交流の夕べ・昼食弁当

解除の日	文化交流の夕べ	昼食弁当
3日前まで	無料	無料
前々日	50%	弁当代の50%
前日以降	100%	100%

●提案集について

2016年7月25日（月）までに申し込みされた方には、7月26日以降、提案集を事前に送付いたします。7月26日以降に申し込まれた方は、現地でのお渡しになります。

●申し込みに関するお問い合わせ先

株式会社JTBコーポレートセールス 教育第一事業部営業四課内

「第152回学校体育研究同志会全国研究大会」係

〒163-0431 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル31階

担当：森田 真洋・竹越 正晴・後藤 理江

TEL:03-5909-8034 FAX:03-5909-8040 営業時間：09:30～17:30（土・日・祝祭日は休業）

●大会についてのお問い合わせ先

連絡先：E-mail k.nozomu@jcom.home.ne.jp 090-9813-0378 大会事務局

お申込み締切日：2016年8月1日（月）

感動のそばに、いつも。JTB

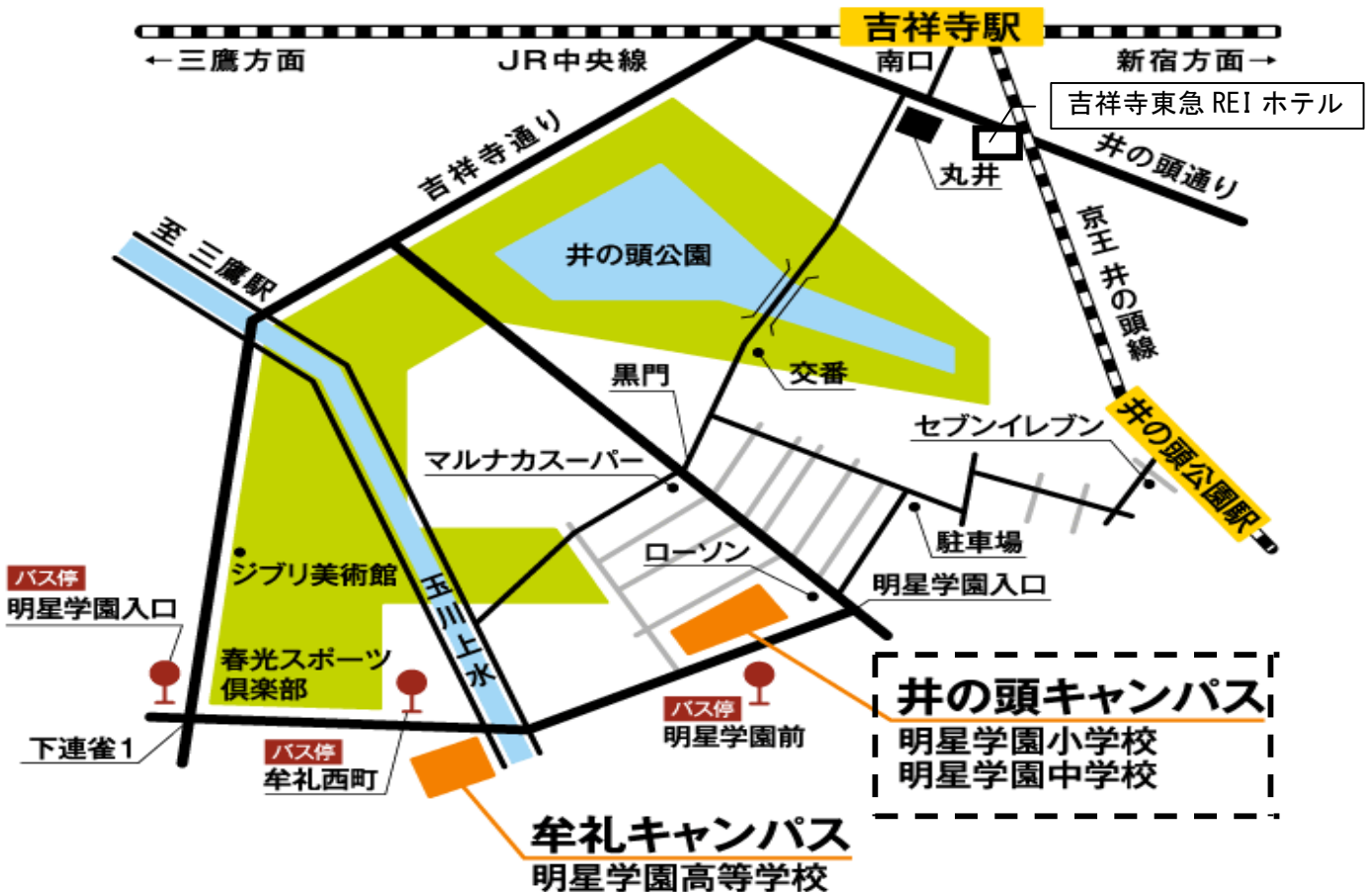
明星学園小中学校 アクセス

*東京→（中央線）→吉祥寺（特別快速は停車しません） 【約30分】

*羽田空港→（京浜急行線）→品川→（山手線）→新宿→（中央線）→吉祥寺【約1時間】

- ・吉祥寺駅南口から徒歩約15分
 - ・京王井の頭公園駅から徒歩約10分
 - ・吉祥寺駅南口よりバス約5分（丸井前バス停留所3・4・5・6・7・8番停留所から）
 - *『明星学園入口』下車 徒歩10分（5分おき程度）
- 但し、4番路線 吉11→『明星学園前』まで行きます。（1時間に2本程度）

*車・・・明星学園には駐車場はありません。明星学園付近には、駐車場はわずかしかありません。吉祥寺駅周辺のパーキングの利用になります。



「文化交流の夕べ」会場：吉祥寺東急 REI ホテル

*上記地図、井の頭通りと京王井の頭線の交わるところに吉祥寺東急 REI ホテルがあります。